

2022年9月21日

(第2版)

会 員 各 位

## 日本広報学会 第28回研究発表全国大会（いわき大会）開催のご案内

日 本 広 報 学 会  
理 事 長 柴山 慎一  
大会実行委員長 福迫 昌之

主 催： 日本広報学会  
開催校： 東日本国際大学  
協 力： 経済広報センター、日本パブリックリレーションズ協会、  
公共コミュニケーション学会、日本広報協会、  
月刊『広報会議』  
後 援： 福島県、いわき市、いわき商工会議所、  
福島民報社、福島民友新聞社

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、第28回研究発表全国大会は、以下のご案内の通り、2022年10月15日（土）、16日（日）の日程で、東日本国際大学（福島県いわき市）にて開催いたします。会員の皆様におかれましては、広い視点から広報・コミュニケーションに関連する研究成果をご披露いただければと存じます。各分野の碩学の皆様、教育・研究機関に属する若手研究者の皆様、企業や自治体等に在籍する実務家・専門職の皆様、どうぞ奮ってご参加・ご発表ください。

※この事業は吉田秀雄記念事業財団、福島県、いわき市からの助成を受けています。

### 1. 統一論題 信頼の創出とコミュニケーション

—災害×地域×広報を手掛かりに—

#### <趣旨>

自然災害やコロナ禍そして戦争といった社会不安が増大するVUCA時代を迎え、情報やメディア、コミュニケーション環境の変化は加速度を増している。それとともに、さまざまなコミュニケーションが創り出す社会的信頼関係のあり様も問い直されようとしている。

そうした中、福島第一原発事故の被災地となった福島県浜通り地域は、東日本大震災発災から11年が経過した今も、誹謗中傷、風評被害そして社会的分断など、コミュニケーションそしてパブリックリレーションズに関わる様々な問題の最前線であり続けている。

戦後日本における行政広報は、市民の行政への暗黙の信頼を基盤に成り立ってきた。原

子力政策に関わる広報はその典型であり、それは「安全神話」としていったん結実したとも言える。実際に起こった原発事故はそうした仮想の信頼関係の崩壊を示す出来事であった。

このような原子力広報の構図は、社会における信頼およびコミュニケーションの危機を象徴するものであり、被災地では現在においても、風評被害のまん延やリスク・コミュニケーションの不全といった形で地域復興の足枷となっている。

一方、広報学のもう一つの軸である企業広報においても、近年はSDGsやESGの普及、浸透とともに企業の社会的責任が厳しく問われている。企業内の一部署である広報部門が担当し情報発信を行う「狭義の広報」の充実では不十分であり、「企業活動は社会との信頼関係の上でのみ成立する」という認識が広がってきた。いわば持続的な企業活動そのものが「広義の広報」であるという段階に達している。

また自治体広報においては、「域内への広報」が中心であった段階から、行政経営の観点からのシティセールスが盛んになるなど「域外への情報発信」の重要性が高まってきた。さらには地域住民の主体的な活動も、地域からの広報発信において重要な役割を占めるに至っている。

こうした状況全体を踏まえれば、特定の地域や政策あるいは業種に止まらず、現在が社会の転換期における広報の在り方を問い直す契機であるとともに、むしろ今こそ広報の真価の発揮が期待されているといえるであろう。

第28回大会では、福島第一原発から最直近に立地する東日本国際大学を開催校として、信頼およびコミュニケーションという広報概念の最重要要素に焦点を当て、広報の本質を見つめ直す。東日本大震災の被災地において危機を乗り越えようとする各セクターの戦略や、地域復興に取り組む人々の具体的な事例を通じて、VUCA時代に求められる広報の在り方と役割を考えたい。

**2. 会期**            [第1日] 2022年10月15日(土) 10:50~19:45

                      [第2日] 16日(日) 09:30~16:00

                      [エクスカージョン(震災関連施設等の視察見学会)] 2022年10月14日(金)

**3. 会場**    **東日本国際大学**

〒970-8023 福島県いわき市平鎌田字寿金沢37

現地開催とオンライン会議システム Zoom を併用した「ハイブリッド形式」による開催

- 現地での参加を中心としつつ、遠隔での参加にも不自由のないように対応します。
- 会場では無料Wi-Fiをご利用いただけます。
- 問い合わせは大会事務局 ([taikai28\\_iwaki@mail.jsccs.jp](mailto:taikai28_iwaki@mail.jsccs.jp)) まで。

#### 4. 全体スケジュール

##### 10月14日(金)【事前視察見学会(エクスカージョン)】

11:00 過ぎ～18:00 ごろ

- 福島第一原子力発電所などの視察を行います。
- 当日は午前11時10分 JR 双葉駅着「特急ひたち」のダイヤに合わせて同駅前集合、午後6時頃に JR いわき駅前解散の予定です。

##### 10月15日(土)【1日目】

10:30～ ポスター掲示作業

10:50～11:00 開会式

11:00～12:00 統一論題基調講演

テーマ：「信頼とコミュニケーション～企業・被災地の現場から～」

基調講演者：井上 直美 氏

いわき観光まちづくりビューロー会長、

みずほ総研 元社長、常磐興産(スパリゾートハワイアンズ)前社長

12:00～12:30 報告

「東京電力における廃炉広報実践と信頼再構築への取組み」

東京電力ホールディングス(株) 廃炉カンパニー広報責任者

12:30～14:00 ポスターセッション(昼食)

14:00～16:30 統一論題パネルディスカッション

テーマ：「地域社会における信頼の創出とコミュニケーション」

パネリスト：小松 理虔氏 ローカルアクティビスト/大佛次郎論壇賞受賞

越智 小枝氏 東京慈恵会医科大学教授

林 博司氏 パブリシंक代表取締役/地方公務員アワード 2021/

全国広報コンクール内閣総理大臣賞受賞

河井 孝仁氏 東海大学教授

コーディネーター：濱田 逸郎氏 江戸川大学名誉教授/本学会副会長

16:35～16:50 日本広報学会賞表彰式

17:15～18:15 情報交換会(会場：キャンパス内)

## 10月16日(日)【2日目】

09:30～11:45 自由論題口頭発表(午前の部)

12:00～13:00 (株)電通 PR コンサルティング提供ランチョンセッション

13:15～15:40 自由論題口頭発表(午後の部)

15:50～16:10 閉会式・次回開催校挨拶

### 5. 実行委員会名簿

実行委員長 福迫昌之(東日本国際大学)

副委員長 濱田逸郎(江戸川大学、学会副会長)

副委員長 築地達郎(龍谷大学)

委員 河井孝仁(東海大学、学会研究委員長)

委員 北見幸一(東京都市大学、学会総務委員長)

委員 山田紀浩(東日本国際大学)

委員 小野寺孝晃(TATAKIAGE Japan、事業構想大学院大学)

委員 渡辺稔(わたなべ英数塾)

委員 大島昌子(日本広報学会事務局長)

アドバイザー 国枝智樹(上智大学)

以上